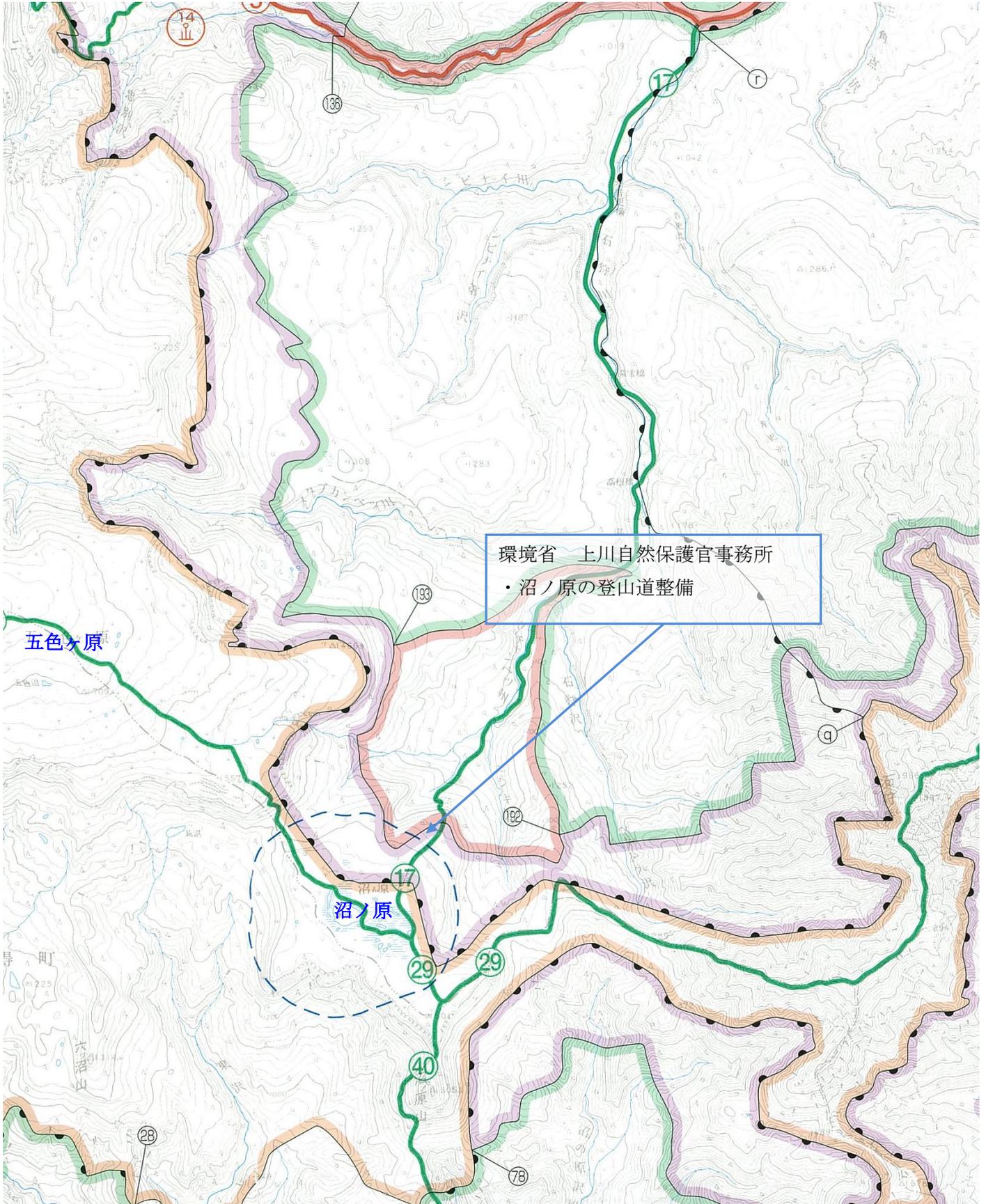
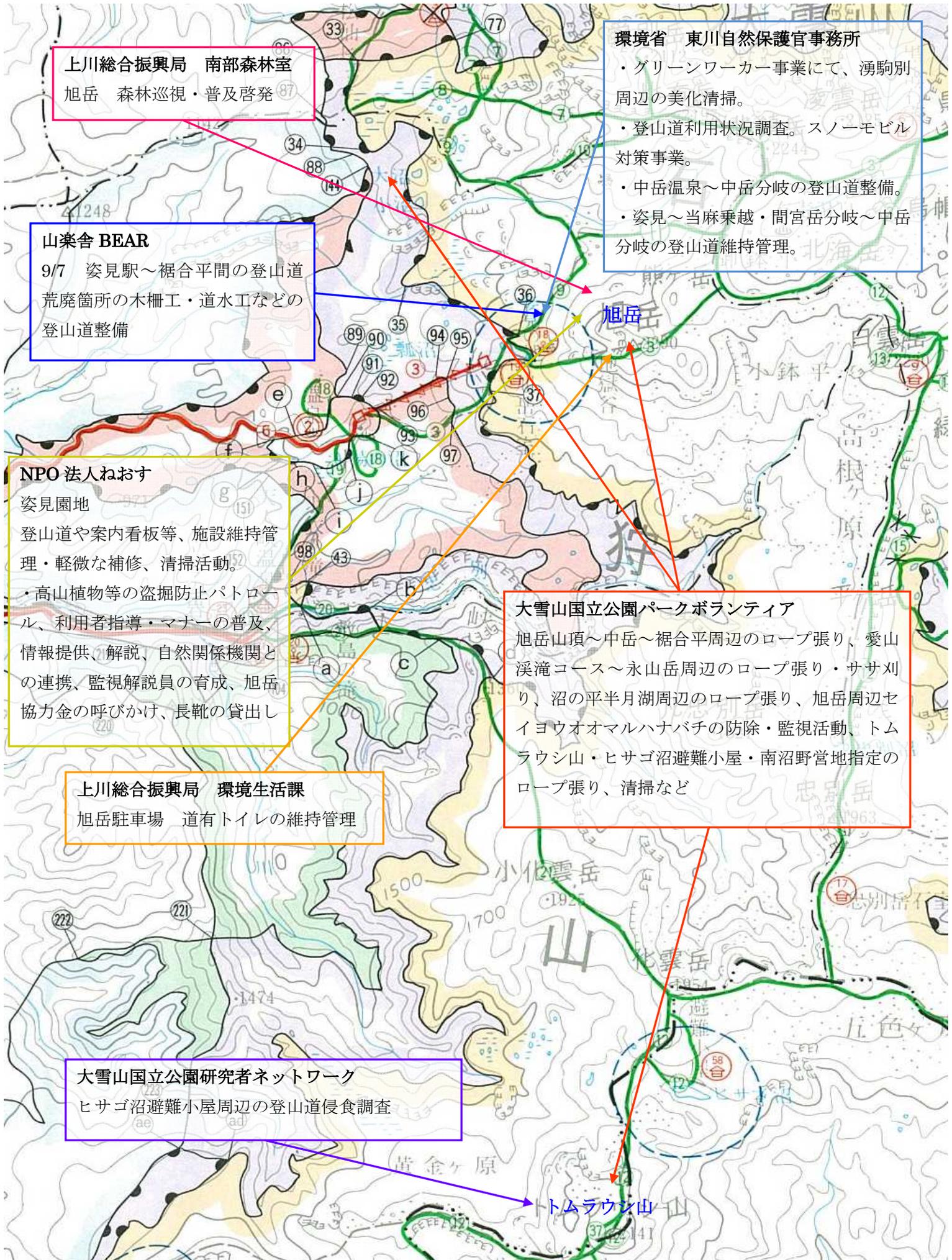
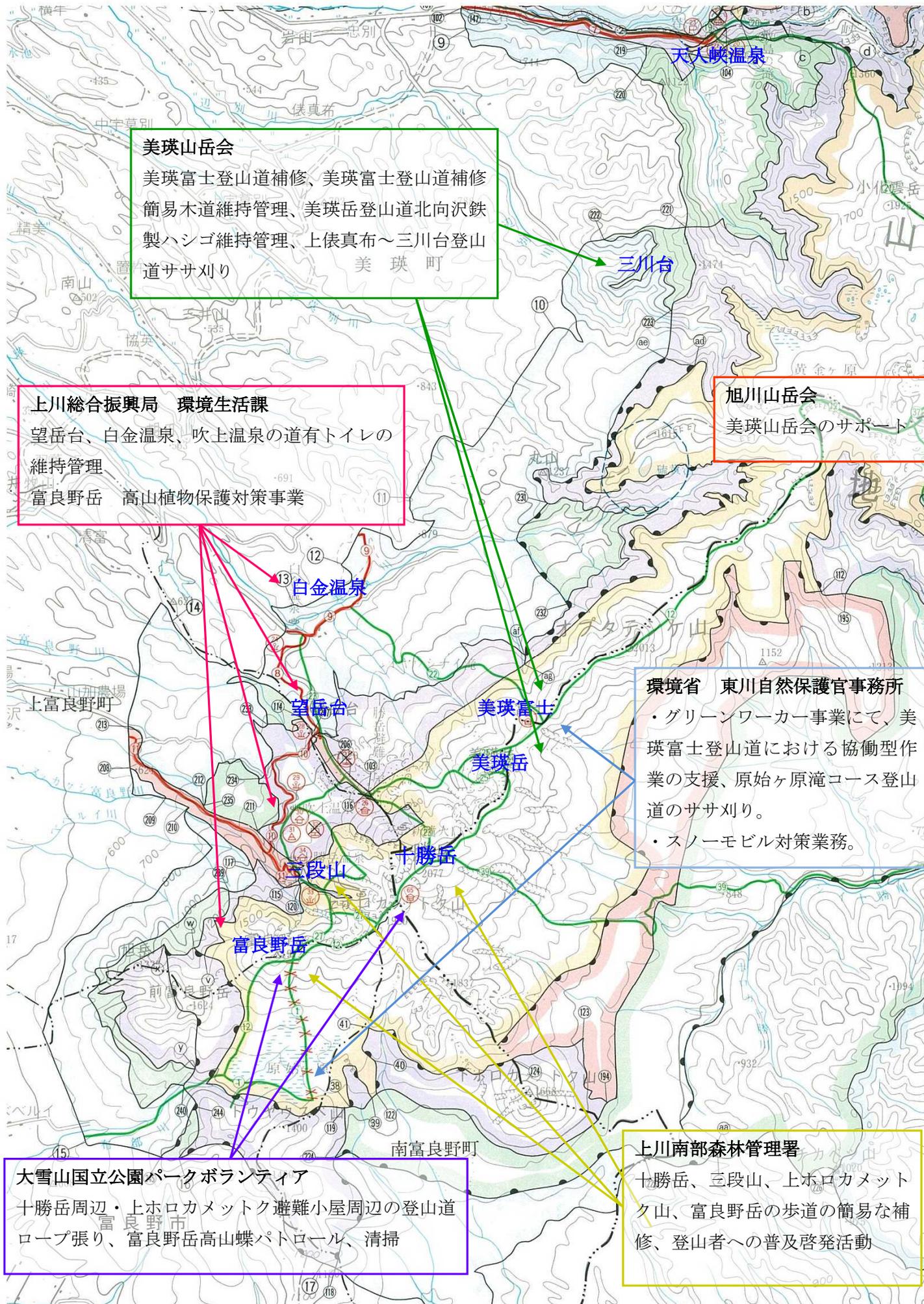


平成 26 年度 沼ノ原 作業予定箇所







大雪山登山者意識調査

大雪山の今後の管理のため、今回の山行でどのような楽しみ方をされ、どのような場面で満足されているのか調査しております。恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお本調査は、無記名で統計的に処理するため、各人の回答がそのまま公表されることはありません。

調査主体：北海道大学

返信・問い合わせ 北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

〒060-8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目

電話番号：011-706-2452 メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

- ご記入いただいたアンケート用紙は、返信用封筒に入れて、ポストにご投函ください。
封筒には、お名前のご記入、切手は不要です。

問1. 今回、何泊何日で、何人の方と登山をされましたか？

() 泊 () 日 自分を含めて () 人

問2. 入山した場所、下山した場所を記入し、宿泊した場所を選んでください。(○は、いくつでも)

入山した場所：

下山した場所：

<避難小屋>

1. 黒岳石室
2. 旭岳石室 (姿見)
3. 白雲岳
4. 忠別岳
5. ヒサゴ沼
6. 美瑛富士
7. 十勝岳
8. 上ホロカメットク

<野营地>

9. 黒岳
10. 裏旭
11. 白雲岳
12. 忠別岳
13. ヒサゴ沼
14. 沼ノ原大沼
15. 沼ノ原分岐
16. 五色の水場
17. トムラウシ北沼
18. トムラウシ南沼

19. 三川台
20. 扇沼山
21. 双子沼
22. 美瑛富士
23. 上ホロカメットク
24. ブヨ沼
25. 小天狗のコル

その他：

問3. (今回の山行も含めて) これまでに何回、大雪山国立公園を登山しましたか？(○は、1つだけ)

1. はじめて 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回 6. 6回 7. 7回 8. 8回以上

問4. 以下の項目はどの程度あなたにあてはまりますか。(○は、それぞれ1つ)

| | 大変そう思う ←————→ 全くそう思わない | | | | |
|-------------------------|------------------------|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 国立公園は自分にとって大切だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 国立公園は、他の場所よりも満足した登山ができる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 大雪山は自分にとって大切だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 大雪山は、他の場所よりも満足した登山ができる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問5. 今回の登山の際の情報源は何ですか。(○は、いくつでも)

| | | |
|-------------------|-----------------|---------------|
| 1. 以前来訪した際の経験 | 5. その他の Web サイト | 9. 旅行会社の店員の勧め |
| 2. 家族や友人知人からの紹介 | 6. 雑誌・ガイドブック | 10. なんとなく |
| 3. ブログやインターネット掲示板 | 7. 旅行会社のパンフレット | 12. その他 () |
| 4. 地域や施設の Web サイト | 8. テレビや映画 | |

問6. 大雪山で散策や登山で訪れたいと思っていた場所について事前に調べたところ、次のような場所であることがわかったとします。あなたはどのように思われますか。(○は、それぞれ1つ)

| | とても望ましい<—————>とても望ましくない | | | | | わからない |
|----------------|-------------------------|---|---|---|---|-------|
| ロープウェイで途中まで行ける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 歩くのに登山靴が必要である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 携帯トイレが必要である。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 山中に宿泊する必要がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問7. 今回の登山に対する総合的な満足度をお答えください。(○は、1つだけ)

| とても満足できた<—————>とても不満だった | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問8. 大雪山を訪れて、以下の項目についてどのように思いましたか。(○は、それぞれ1つ)

| | とても思う <—————> 全くそう思わない | | | | |
|--------------------|------------------------|---|---|---|---|
| 家族や親しい知人に大雪山を紹介したい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 1年以内に、大雪山を再び訪れたい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 別の季節に、大雪山を再び訪れたい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 1年以内に、他の国立公園を訪れたい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問9. ①大雪山での登山中に、混雑していると感じましたか？(○は、1つだけ)

| とても混雑 | やや混雑 | どちらでもない | あまり混雑していない | 全く混雑していない |
|-------|------|---------|------------|-----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

②「とても混雑」「やや混雑」と答えられた方は、そう感じた時間・場所、状況を教えてください。

| いつごろ？ | どこで？ | 何でそう感じた？ |
|-------|------|----------|
| | | |

問10. 大雪山では、山岳会やボランティアが登山道・避難小屋・野営地の補修や清掃を行っている場所があります。そのことをご存じでしたか？一つだけ○をつけて下さい。

1. 知らなかった 2. 知っていたが、参加したことはない 3. 参加したことがある

問11. 登山道・避難小屋・野営地の補修や清掃に参加できる機会があったら、あなたは参加してみたいと思いますか？一つだけ○をつけて下さい。

1. 参加したくない 2. 話し合いだけなら参加したい 3. 作業だけなら参加したい
4. 話し合いも作業も参加したい

問12. 以下の場所のうち、行ったことがある場所に○（いくつでも）を、最も好きな場所に◎（1つだけ）をつけてください。

| 行った | 最も好き | 場所 | 行った | 最も好き | 場所 |
|-----|------|--------|-----|------|-----------|
| | | 黒岳 | | | 旭岳 |
| | | 白雲岳 | | | 高根ヶ原 |
| | | トムラウシ山 | | | オプタテシケ山 |
| | | ニペソツ山 | | | その他（地名： ） |

問13. あなたが前の質問（問11）で「最も好きな場所」と答えられた場所について、今後どのようになつて欲しいと思いますか。（○は、それぞれ1つ）

| | | とてもそう思う<—————>全くそう思わない | | | | | わからない |
|-------------------------------|---|------------------------|---|---|---|---|-------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 歩道をさらに歩きやすく整備してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| トイレを整備してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 道標（道しるべ）を整備してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 立入禁止のロープ・柵を整備してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 注意を促す看板を整備してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 予約などがなくても登山道や山頂で出会う人数を減らしてほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 高山植物を保護する対策を実施してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 不便でも人工物のない環境を保護してほしい |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

大雪山国立公園登山道管理水準・整備技術指針の再検討

環境省では、平成 13 年度より現地調査を開始し、関係者間の議論・調整ののち、平成 16 年度に整備技術指針、平成 17 年度に登山道管理水準の作成を行った。近年（平成 21 年度～）、協働による登山道維持管理の活動が行われる中で、維持管理の目標や統一した管理手法を示す登山道管理水準・整備技術指針の重要性は増している。

登山道管理水準等の成果は、近自然工法の導入や認知が進み、保全優先順位の高いルート^①の整備（沼ノ平～裾合平、沼ノ原等）が行われたり、共通の作業教本が作られたりというものがあるが、一方で、登山の心得を含めた一般登山者への周知が進まず、登山道を維持管理する多くの団体の認知度が低く、活用事例が少ないといった普及面での課題がある。



環境省では平成 25 年度より、登山道管理水準・整備技術指針の見直しに着手し、登山道の荒廃状況の調査の実施や、2 回の検討会、2 回の作業部会を行い、登山道管理水準の素案を作成した。

平成 26 年度は、登山道管理水準素案をたたき台に、各登山道について検討会や関係者への意見聴取による整理・調整を行うとともに、整備技術指針の見直し作業を実施する。



登山道管理水準（登山道レベル）の再設定においては、関係者への意見聴取の方法として、今回も含めた自然公園指導員連絡協議会の例会の場や、山岳関係者による情報交換会の場を活用。

登山道管理水準の見直しの視点

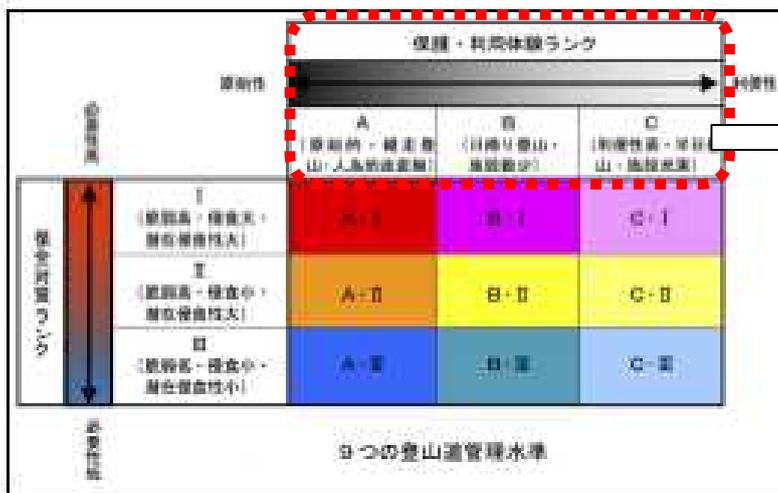
《見直しポイント》

- ・ 現行のランク付けと現状に違和感のある区間についての見直し
- ・ 前回の対象外だった路線へのランク設定の検討（三山台、トムラウシ短縮路）
- ・ 歩道通行止め、管理者不在区間への再評価（災害等による不通、管理不在の荒廃等）
- ・ 利便性変化による再評価（林道通行止め等でのアクセスの変化）
- ・ 野営指定地、避難小屋、トイレを含んでの評価
- ・ 地形・天候・行程・判断の難度を含んでの評価

《普及・活用面での課題を解消するために》

○登山道利用者が使いやすいものとする

- ・ 保護利用体験ランク（利用のあり方・難易度、雰囲気）を利用者に明示
（保全対策ランク（荒廃度・要整備重要度）は管理側の分類として利用者側には非表示）
- ・ ランクを明示した統一した標識の整備、現地とマップの統一



保護利用体験ランクを
よりわかりやすく整理

標識・登山マップで表示

○現状と理想のギャップ解消のために活用する。

- ・ ランク以上の管理を利用者から求められた時に説明資料として活用する。
- ・ ランクに応じた管理ができない場所については、できるように調整するための議論のたたき台として活用する。
- ・ 施設整備の優先順位の設定に活用する。

大雪山国立公園登山道管理水準等検討会の開催状況（平成25年度）

第1回検討会 平成25年12月 2日 札幌

- 内容
- 1) 現行の登山道管理水準、整備技術指針の構成の説明
 - 2) 現行の登山道管理水準等の活用状況と課題・見直しの必要性
 - 3) 検討会の設置承認
 - 4) 各委員より見直しに当たっての課題提起等
 - 5) 登山道現況調査（結果概要）の報告
 - 6) 意見交換

第2回検討会 平成26年 1月27日 札幌

- 内容
- 1) 第1回検討会のまとめ、今後の進め方（作業部会設置承認）
 - 2) 管理水準の普及・活用に関し意見交換
 - 3) 登山道現況調査（結果概要）の報告
 - 4) 管理水準見直しに向けた意見交換

大雪山国立公園登山道管理水準等検討会（管理水準作業部会）の開催状況（平成25年度）

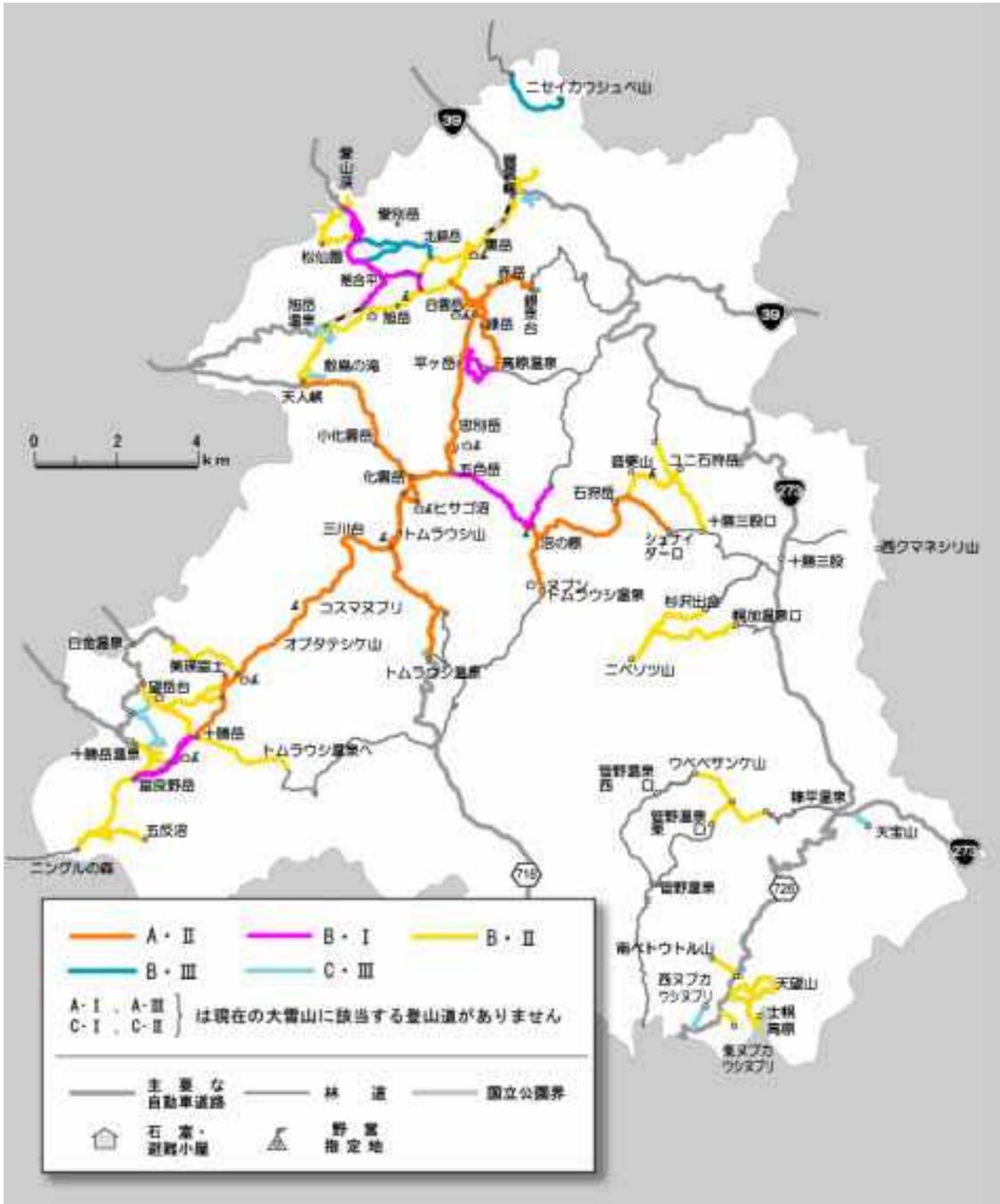
第1回作業部会 平成26年 2月27日 札幌

- 内容
- 1) 現行管理水準で違和感のある区間の抽出と理由付け
 - 2) 普及に向けた発信方法の検討
保護利用体験ランクA, B, Cの3段階の見直し→5段階へ
 - 3) 管理水準見直し案（たたき台）の設定
 - ・地形・天候・行程・判断の難度を含んでの評価
 - ・三山台、トムラウシ短縮路への仮設定
 - ・ランク未設定の取扱（松仙園、ユニ石狩）

第2回作業部会 平成26年 3月 7日 札幌

- 内容
- 1) 第1回作業部会で作成のたたき台を元に意見交換
 - 2) 保護利用体験ランク・保全対策ランクの素案を作成
 - ・望ましい管理状況と現状の管理のギャップにおける仮設定（朝陽山、雲井ヶ原、クチャンベツ～沼ノ原）
 - ・不通区間の仮設定（天人峡、三段山）
 - ・作業部会委員間で意見をまとめづらかった路線（上富良野岳～富良野岳）

現行（平成17年度設定）大雪山国立公園登山道管理水準



平成 26 年 6 月 9 日

大雪山関係者各位

環境省北海道地方環境事務所
北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

大雪山における避難小屋・野営指定地の利用実態調査について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、当方の研究及び国立公園管理にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、大雪山国立公園では、現在、登山道管理水準の改訂作業中ですが、管理人が常駐しない避難小屋・野営指定地は利用実態が不明です。

つきましては、山行で宿泊された登山者のみなさまに、利用状況をお伺いする調査を、別紙の要領で計画いたしました。お手数をおかけしますが、みなさまのご協力をいただけますようお願いいたします。

敬具

調査実施・連絡先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話&FAX 011-706-2452

電子メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

大雪山に登山される方へ 避難小屋と野営指定地の利用状況調査にご協力ください

大雪山国立公園には、8つの避難小屋、12の野営指定地があります。登山シーズンに管理人が常駐するのは、黒岳と白雲岳で、その他の場所では、何人くらいの方が利用されているかという基礎的な情報がない状況です。利用実態のデータは、今後の大雪山の管理と、避難小屋と野営指定地のあり方を検討する上で欠かせません。ただし、調査員を配置することなどは、大きな経費も予想されます。

つきましては、大雪山に登山されるみなさまに、通過および宿泊された避難小屋・野営指定地・その他の場所での、宿泊者数およびテント数の記録に、ご協力をお願いするものです。

環境省北海道地方環境事務所
北海道大学大学院農学研究院

・山行の際に、以下の場所に宿泊または通過された場合に、避難小屋は人数、野営地はテント数を記録してください。

避難小屋：黒岳石室、旭岳石室（姿見）、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、美瑛富士、十勝岳、上ホロカメットク

野営地：黒岳、裏旭、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、沼ノ原大沼、沼ノ原分岐、五色の水場、トムラウシ北沼、トムラウシ南沼、三川台、扇沼山、双子沼、美瑛富士、上ホロカメットク、ブヨ沼、小天狗のコル

・記録された結果を、以下のインターネットサイトにアクセスし、投稿して下さい。

<http://urx.nu/8G20>

・とりまとめた調査結果は、大雪山の管理に生かすとともに、ご協力いただいたみなさまにも報告いたします。

・同時に現地での意識調査も予定しております。ご協力よろしく申し上げます。



調査実施・連絡先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話&FAX 011-706-2452

電子メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

2014年 大雪山の利用状況お知らせフォーム

大雪山では登山道や避難小屋、野営地、トイレの維持管理が課題になっています。このフォームからご自身が登山された際に、宿泊された避難小屋と野営地の利用状況を教えてください。調査員を常時配置することが難しい場所の情報をお寄せいただき、今後の管理に生かしていく仕組みをつくりたいと考えています。ご協力よろしくお願いします。

北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也
環境省北海道地方環境事務所

大雪山の山中で、2014年6月から9月末までの間で、避難小屋や野営地に宿泊された場合のみ、自分たちも含めて、そこに泊まっていた方のおおよその人数を教えてください。

対象とする施設は、以下です。

避難小屋：黒岳石室、旭岳石室（姿見）、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、美瑛富士、十勝岳、上ホロカメットク

野営地：黒岳、裏旭、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、沼ノ原大沼、沼ノ原分岐、五色の水場、トムラウシ北沼、トムラウシ南沼、三川台、扇沼山、双子沼、美瑛富士、上ホロカメットク、ブヨ沼、小天狗のコル

※大雪山中での野営は、定められた避難小屋と野営指定地のみで可能です。本調査では、利用の実態を把握する目的で、緊急時以外の宿泊を認めていない旭岳石室、野営指定地ではない沼ノ原分岐、五色の水場、北沼、三川台、扇沼山を含めています。

*必須

1泊目

| | | | |
|---|---|---|---|
| 月 | ▼ | 日 | ▼ |
|---|---|---|---|

1泊目の場所

| |
|---|
| ▼ |
|---|

この質問は必須です

1泊目の小屋の宿泊人数(自分たちも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

1泊目の野営地のテント数(自分たちのテントも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

2泊目

| | | | |
|---|---|---|---|
| 月 | ▼ | 日 | ▼ |
|---|---|---|---|

2泊目の場所

この質問は必須です

2泊目の小屋の宿泊人数(自分たちも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

2泊目の野営地のテント数(自分たちのテントも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

3泊目

3泊目の場所

この質問は必須です

3泊目の小屋の宿泊人数(自分たちも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

3泊目の野営地のテント数(自分たちのテントも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

4泊目

4泊目の場所

この質問は必須です

4泊目の小屋の宿泊人数(自分たちも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

4泊目の野営地のテント数(自分たちのテントも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

5泊目

5泊目の場所

この質問は必須です

5泊目の小屋の宿泊人数(自分たちも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

5泊目の野営地のテント数(自分たちのテントも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

6泊目

| | | | |
|---|---|---|---|
| 月 | ▼ | 日 | ▼ |
|---|---|---|---|

6泊目の場所

この質問は必須です

6泊目の小屋の宿泊人数(自分たちも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

6泊目の野営地のテント数(自分たちのテントも含めて)

整数で記入ください

この質問は必須です

気づいた点・気になった点

宿泊・野営に関する状況について、気付いた点、気になった点などがあればご記入ください。

この質問は必須です

お名前／イニシャル／ニックネーム *

入力の重複を確認するためご記入ください。

この質問は必須です

メールアドレス

調査結果の配信をご希望される方は入力ください。

この質問は必須です

送信